

大阪大学における国際会議の開催支援

経営企画オフィス URA部門

シニア・リサーチ・マネージャー／総長特命補佐

池田雅夫



URAとは？

文部科学省「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業
(リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備)平成24年度公募要領

URAは、University Research Administrator の略です。

本事業におけるURAは、大学等において、研究者とともに(専ら研究を行う職とは別の位置づけとして)研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行う(単に研究に係る行政手続きを行うという意味ではない。)ことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指します。

大阪大学 経営企画オフィス
URA部門

<http://www.ura.osaka-u.ac.jp>

問い合わせ先

<http://www.ura.osaka-u.ac.jp/contact/>

メールマガジンも見て下さい

<http://www.ura.osaka-u.ac.jp/uramagazine/>



共創イノベーション棟
4階401

大阪大学URAの業務(平成29年度)の抜粋

- 国内外の競争的資金等の情報の収集と研究戦略の分析
- 研究情報の国際発信の支援、及び教員や研究者の国際公募の支援
- 若手、女性、外国人研究者に対する英語論文作成支援
- 若手、女性、外国人研究者の情報発信のためのホームページ及びコンテンツ作成支援
- 若手及び女性研究者に対する外部資金獲得支援(計画調書作成支援等)
- 外国人研究者に対する外部資金獲得支援(日本の制度の説明や計画調書作成支援等)
- 外部資金獲得支援(情報収集と学内周知や模擬面接・ヒアリング)
- **若手及び女性研究者等による国際シンポジウム等の企画・準備・運営の支援**
 - 外部委託と自前の適切な分担、外部委託業者の選定の支援
 - 国際的な学会の伝統と日本開催の独自性の調整の支援
 - お金を掛ける部分と掛けない部分の切り分けの支援
 - …
- 国際共同研究の企画、申請、立ち上げ、運営、広報等の支援
- アカデミア、産業界の人々、外国人、日本人等の多様な人材が集まるワークショップ等の支援

2

講演者の経験からのアドバイス

ポイント：業者とどのように業務分担するか、どこにお金を掛けるか

判断基準：①費用対効果比 ②支出額の限界 ③…

効果とは：①参加者数 ②自分たちの負担軽減 ③…

例1：会場選び、体制作り

- ◆ 会議の趣旨や規模に合わせたアドバイス

例2：ホームページ

- ◆ 国際的な学会が主催する会議の場合
 - 見栄えや地域の魅力の説明にそれほど注力する必要はない
 - ・参加者数は宣伝にほとんど依存しない
 - ・地域の説明は、地域の適当なホームページにリンクを張ればよい
 - または、他の国際会議で使ったものを流用させてもらえばよい
 - ・プログラムの分かりやすさには注力すべき

例3：参加者登録と受付

- ◆ 業者が作成した標準的なものを使用
 - クレジットカード決済やお金のやり取りはすべて業者に任せる

例4：宿泊と観光

- ◆ 会議とは別会計にして、業者に任せること

例5：当日の会場の運営

- ◆ できるだけ、学生アルバイトで対応することが望ましい
 - 国際会議の運営(の一部)を体験することは学生にとってよい経験

3